



ゆのおっ子だより

令和6年度 湯尾小学校長だより
2024.10.9 NO. 30

— 造形遊び 荒土を使って（全校） —

9日（水）の3・4校時に、越前荒土を使って全校で「造形遊び」を行いました。（越前荒土は、越前焼に使用される粘土です。）福井県では、芸術推進事業が行われており、今回使用する荒土は無償で提供されました。



全校児童が、荒土を使用するので汚れても良い服を着て体育館に集まり行いました。講師は、末野教頭先生です。まず、土を軟らかくするために「こね」ました。子どもたちは、最初はとても堅いので体重をかけて体全体でこねました。次第に、土が軟らかくなり手にもなじむようになりました。次に、家から持ってきたペットボトルにその土を貼り付けていきます。貼り付けるときには、粘土を丸く伸ばして縄のようにします。その縄にしたものをペットボトルに巻いていきます。隙間ができないように手で表面をのばしてきます。それをくり返して、ペットボトルを包み込みます。その後は、飾りをつけたり模様を描いたり色々な工夫を子どもたち一人一人が行いました。



子どもたちは、全校で集まってみんなでする図工にとっても楽しそうにしていました。いつも学年ごとにやっているのと違い、たくさんの方の色々なアイデアや考え方を知ることができ、子どもたちの想像力・創造力はどんどん高まっていくのを感じました。すごいなと思いました。そして、素敵な作品が次々とできあがりました。いい作品ができあがりました。



作品の一部です。

※この文書の転載、複製、改変等は禁止します。



今日、作品はお家に持って帰りました。お家の方でも、子どもたちの話を聞きながら作品を見ていただき感想などお子さんと話し合っていたらと思います。よろしくお願いいたします。

この作品ですが、本来はよく乾燥させ窯などで焼き上げなくてはならないのですが、今回は、土に触れることを目的にしていますので、焼き上げはしていません。時間がたつにつれ、ボロボロになってきます。しばらく鑑賞した後は、土に戻していただければと思います。ですので、作品を残しておきたいと思われる方は、写真に撮って残しておかれることをおすすめします。よろしくお願いいたします。